

定例公安委員会の開催状況について

令和5年8月3日に、第22回定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 令和5年度第1四半期における監察実施状況等について

令和5年度第1四半期における監察実施状況等について報告があった。

委員のコメント

- ハラスメントの防止については、職場の対人関係を良くする意味でも、新しい価値観に基づいた職場内の人間関係作りが望まれる。計画外監察も適時に実施してほしい。
- 個別面接で直接各人の話を聞くことは、コミュニケーションを図る上でも、身上把握する上でも大切な機会と捉え、しっかり実施してほしい。警察職員による不祥事が起きれば、警察はたちまち県民の信頼を失うことになる。引き続き不祥事の防止に努めてほしい。また、監察によって問題を認識した場合は、速やかに公安委員会に報告してほしい。
- 基本を守らない結果が様々な問題につながってきたことに鑑みれば、基本の遵守状況を確認したことは良い着眼と言える。小さなことを見逃さないことが大事であり、引き続き効果的な監察業務を行ってほしい。

2 山形県医師会と連携したサイバーセキュリティ対策について

医療機関におけるサイバーセキュリティ対策を目的として設置した山形県医師会サイバーセキュリティ対策委員会等について報告があった。

委員のコメント

- 警察が主導的な立場となって、その必要性を医療機関に対し啓蒙してほしい。
- 一般的にサイバー攻撃に関しては、セキュリティソフトの導入等で対策が講じられているが、ヒューマンエラーの防止が重要であり訓練が必要である。委員会への参画を通じて、加盟している医療機関等にもサイバー攻撃に関する研修や指導を実施してほしい。医療機関との連携をきっかけにして警察からの情報発信も行ってほしい。
- ネットワーク環境が大きい程、加入者数も多くなり、末端におけるセキュリティ対策の徹底がしにくくなる傾向にある。警察が中心となって対策の強化が図られるよう、関係機関団体等と連携しながらセキュリティ対策を進めてほしい。

3 科学捜査研究所における鑑定・研究の状況について

科学捜査研究所における鑑定・研究の状況について報告があった。

委員のコメント

- 科捜研の鑑定は、事件解決の決め手となる証拠を導き出す重要な仕事である。
研究所として積極的に鑑定に取り組む姿勢で臨んでほしい。
- 専門性の高い分野であり、専門的な人材の計画的な育成が大事である。
- 科捜研における研究成果で外部に公表できるものはPRしてはどうか。